

奨励賞



わたしの住んでいるセーブル

赤楽小学校 4年 高田 凜乃愛

わたしが住んでいるセーブルは、海がとも
きれいで、その海からとれる魚や海そう類が
とてもおいしく、町の人もやさしくとて
もいい町です。

でも、いい町にするためには、海や町の
中のポイ捨てをなくすことだと思います。

わたしがよく見るのは、セーブルに花火のモエカ

すか、ビニールぶくろ、ガラスのはへんなど
です。

道路や歩道には、たばこのすいがらや中身の
入ったペットボトルなど小さなゴミがた
くさん落ちています。

セーブルのゴミは、海で遊んでいる人たちがけ
がをするかのうせいがあるし、道路に落ちて
いるペットボトルは、車がぶつかりじこにっ
ながるかのうせいがあるので、町の中にゴミ
が落ちていいるというところは、とてもきれいな

ことだと思ひます。

町の中のパイ拾てをなくすには、一人一人がいしきをし、誰かがパイ拾てしていたら、それを注意しあえることがひつようだと思ひます。

あとは町のみんなでゴミ拾いをする活動や、学校の行事で町をきれいにするとりくみなどがあるといいかもしれません。

きれいな海やおいしい食べもの、七ヶ浜の町を守、ていくには、ゴミが落ちていないき

れいな町づくりをしなければならなひと思ひました。

わたしも自分ができることから取りくみ、たくさんの人にこの事を伝えていきたいと思ひます。